

ふたかみ NEWS

プチトマト

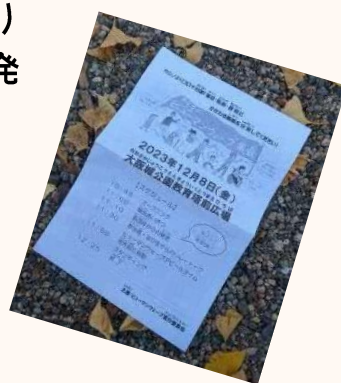
トピック
古着市開催！
詳細4面



『第33回ヒューマンウェーブ集会』が12月8日に大阪城公園教育塔前広場で行われました。3年ぶりの対面での開催ということもあり、ふたかみ福祉会の各事業所から代表者が参加をしました！

当日は約200名の参加がありました。それぞれの立場からの発言を聞いた後、府庁前に移動し、参加者の気持ちを一つに、シュプレヒコールでアピールしました。

(田邊と)



社会福祉法人ふたかみ福祉会

〒583-0841 大阪府羽曳野市駒ヶ谷 105 番地 1 TEL 072-959-3221 FAX 072-959-3264

Email: futakami@kagayaku-inochi.com <https://kagayaku-inochi.com/company/>

発行責任者：石本悦二 編集責任者：関口奈緒美



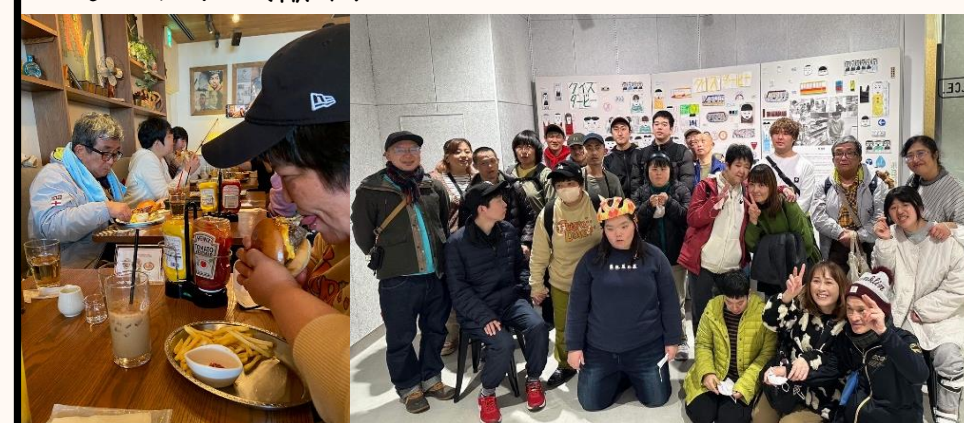
about me

～“わたし”を知って～
非言語のモノローグ

ハピバールで行ってきました

大阪府が主催する展覧会に、高坂さん、山本さん、森さんの3名が選ばれました！展覧会は梅田のLUCUA 1100で行われ、たくさんの方に作品を見てもらえることができ作品を展示したなかまもすごく喜んでいました。

昼食には、みんなで美味しいハンバーガーを仲良く食べました！（阪本）



古着市

キッチンカー
2台！

日程：3月20日(水) 10時～13時

会場：翠鳥園横空き地(イズミヤ古市店の横)

売り物：古着、くつ、かばん

※雨天中止 前日の9時に判断します

今回は品物の回収は致しません

■後援会入会及び更新の方々（敬称略）

2023年12月

・西岡美紀 大友改太

.....以上4口

・辻本陽喜 北林亜弓 竹東公子

.....以上1口

■建設募金 ・田中健 様 ・北林亜弓 様

■寄付 ・竹東公子 様 ・大阪友の会 様（クリスマス献金） ・吉村栄夫 様

■ボランティア.....垣内秀夫様 垣内享太様

■アルミ缶回収（12月分）.....546 kg

ありがとうございます。

◆2023年度ふたかみ福祉会後援会入会、更新のお願い◆

法人では新しくグループホーム2ヶ所をたちあげました

皆様の引き続き日中支援事業所や相談支援へのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

【個人会費：1口3,000円 団体会費：1口10,000円】 郵便振替口座：00940-5-325894

2023 12月 2024 4月

きょうされん 第47次
国会請願署名・募金運動
全国キャンペーン

障害者権利条約を地域のすみずみに
障害のある人びとを支える
制度づくりのための
署名・募金にご協力ください

わたしたちも応援しています

cafeハピバール

2月の予定

定休日 毎週水曜／日曜

休み 10日(土)、12日(月)、24日(土)

★Instagram★
cafe-hapibar.com

お問い合わせ先
072-958-3232

法人研修「最初の気持ちに立ち返って」

1月6日、富田林市民会館大会議室にて、法人研修を行いました。午前は関西福祉科学大学の小口将典教授に来ていただき、「虐待防止研修」として、「支える人たちに求められるもの」というお題目で2時間みっちり講義をして頂きました。

小口氏は教鞭を取られる前は、施設で支援員として働いておられたので、ご自身の経験談も織り交ぜながら、近年の障害者福祉の動向や障害者虐待の状況、要因や課題などを前半に話してくださいました。話の中で、様々な例示出され、非常に分かりやすい内容でした。後半は、意思決定支援、本人中心支援、ウォルト・ディズニーの考え方を通して、職場の基本理念の話をしてくださいました。虐待の要因や背景だけではなく、専門職として、今後の向き合い方や考え方などの話もしてくださいました。

この講義を通じて、何度か強調して言っておられた事がありました。「今日の内容は忘れると思うので、この3つだけは覚え

おいてください。①価値観のチャンネルを合わせる。②人を支える（変える）には自らが変わる。③ラベルの張替え（リフレーミング）を行うこと。」と3点示されていました。当然どれも大事なことです。強調されていたこともあって、非常に印象に残っており、とてもよい学びの時間となりました。

◆午後からは、各自で障害者虐待防止チェックリストを記入してから、ワールドカフェ形式で、当日の感想を含め、自身が感じたことなどを話し合いました。ひとりひとり想いや感じたことなどを伝えあいましたが、「こういった時間を取ることで大事よね」や「今後こんなふうに話を行いたい」などの前向きな声が出るなど、共有や共感をしつつ、相互理解を深める有意義な時間となりました。

虐待に関しては、一時期コロナで減少傾向にあったものの、昨年度からは、再び増加に転じています。悲しいかな、大阪府が通報件数・発見数が日本で一番多い状況となっています。見方によっては、それだけ様々な目で障害のある方を見守っているという捉え方は出来ますが、この現実を受け止めるべきと考えています。

また、虐待の発生要因の1位が「教育・知識・介護技術等に関する問題」となっており、知識不足で知らず知らずのうちに虐待に繋がってしまふという負の連鎖が起きています。障害のある方の人権・権利擁護を守るためにも、我が事と認識し、今後もこのような機会を通じて、職員集団でしっかりと学び、知識を深めていきたいと思います。

（山下）



垣根を越えて「事業所交流」

12月11日、羽曳野市内の事業所が集まり、交流会が行われました。各事業所5分程度の紹介でしたが、それぞれの特色が見られました。ふたかみ福祉会からは、はびきの園とハピバールの紹介を行いました。そこで感じたのは紹介した2つの事業所共になかまのイキイキした姿を紹介できたことは、ふたかみ福祉会らしい姿を知ってもらった良い機会になりました。

後半のグループワークではサイコロトーク。各事業所の職員さん等と交流しました。名物・自慢の支援員さんや地域とどんな方法で交流しているか？等など事業所間の交流が深まり、大いに盛り上がりました。

（大伴）



「優生保護法問題の早い解決を」

12月15日に大阪府社会福祉会館にて、きょうされん大阪支部事務局主催の『第47回国会請願書名・募金運動学習会』が行われました。

ここ数年の署名学習会はリモートで行われていたのですが、今回はコロナ禍を経て久しぶりの対面での学習会でグループワークでは会場が二部屋に分かれるほど多くの方が参加した学習会となりました。

コロナ禍に入職された方も多く署名について今年度に初めて知る方もいらっしゃる第一部では、きょうされんにとっての国会請願書名運動とは、署名活動を行う際の決まり事の説明を受けた後、第47次の請願署名項目について学びました。

今回の請願項目の中に「国は責任をもって早期に優生保護法問題の全面解決を図り、優生思想をなくすことに力を尽くしてください」と「障害のある人がコロナ等の感染症に感染しても、安心して医療を受けられるようにしてください」という項目があり、実際に報道番組で特

集された動画を視聴し理解を深め、署名や訴えを行い続けていく事への大切さを学びました。

第二部のグループワークでは第一部の学習会の内容を受け各法人で、コロナ禍にどのような実践を行っていたか、大変だった事をどのように解決したかを話し合い、署名活動の話では、これまでどのように署名活動を行ってきたか、今後どのような活動を行っていきたいか等の意見交換を行いました。

意見交換を行い、自分の所属する法人以外の担当の方が、署名についての周知方法についての工夫をされている話を伺え、ヒントがもらえたと同時に今後の活動への意欲に繋がる有意義な時間でした。

署名用紙を配らせていただいている方には、国会請願書名の学習パンフレットを同封させていただいております。仲間と家族、共に働く職員の思いが沢山詰まったパンフレットです。ぜひご一読の上、署名のご協力をよろしく願います。

（細田）

ボーナスの取り組み

アクト班

「すたみな太郎、ピンゴ」
年末押し迫る12月25日のクリスマスにアクト班はボーナスの取り組みに行ってきました。100分の食べ放題を満喫して帰ってきた後は、午前中に選んだ景品をかけてピンゴゲームをして大盛り上がりでした。



アトリエ班

「みんなで食べると美味しいね！！」
まだ一つのお鍋をみんなで食べる事が出来ないけど、あったかお鍋で身も心もあったかほかほか。揚げたての天ぷらにメのうどん。



お腹いっぱい食べた後は、差し入れにもらったお菓子で別腹おやつタイム！

コネクト班

「九度山見参」
12月雪も散らつく中、南海電鉄九度山駅の構内にある「おむすびスタンドくど」に行ってきました。かまど炊きおむすびを中心とした売店でそれぞれ好きな具を選び、電車を見ながら熱々のおむすびと味噌汁を食べて心も体も温まり、楽しい一日になりました。



ソレイユ班

12月19日(火) 富田林の「サイゼリヤ」にいったん行きました。店に着くと早速メニューを覗き込んでいたなかま達です。注文した料理が目の前に並ぶとっても喜んでいました。美味しいごはんをボーナスで食べられたことでお腹いっぱいになって帰ってきたソレイユ班のなかま達でした。

